

アベマキの巨木が群がり、地元の憩いの場

かまがみねやま
釜ヶ峰山国有林
広島北部森林管理署

釜ヶ峰山国有林は、平成の大合併により近畿以西で最も広い市となつた広島県北部の庄原市口和町に所在しています。面積は約五二三ヘクタールで、天然林と人工林からなり、庄原市や三次市を流れ、日本海に注ぐ江の川の水源となっています。また、「森林浴公園」として、地域住民の憩いの場として重要な役割を担っています。

中腹に鎮座する「釜峰神社」は、地域の人々から「釜峰さん」、「天狗さん」と呼ばれ親しまれています。

その昔この釜峰神社には、天照皇大神・佐田彦神などが祀られ、「天狗さん」の由来となつた佐田彦神は、「身の丈七尺余り、顔赤く鼻は七咫



アベマキの巨木

にして鋭く猛々しき大神で、天孫二ニギの尊降臨の時、我は目勝の神（萬物に打ち勝つ）であり、尊の道案内を申し出て、高千穂とか、比婆山とか、伊勢とかへ同道した」との神話があります。霊験豊かな軍神として、特に第二次世界大戦中は四国・九州に至るまで多くの兵士が兵士の武運長久を祈つたとされるほど神威の宏大さが信じられたと伝えられています。

現在の釜ヶ峰山国有林は、林木遺産資源保存林に指定されている「アベマキ」の巨木群を代表に、スギ・ヒノキの優良林も多く、各種事業が盛んに行われています。



伝説多い釜峰神社

平成一七、一八年度と続けて保育間伐（活用型）を実行していますが、搬出の際は作業道を作設



保育間伐（列状モデル林）

し、路網整備も進めています。この作業道を利用し、高性能林業機械を導入してより機動的で効率的な森林整備や木材の生産を行い、適切な国有林野の管理経営を行っているところです。

この保育間伐によって発生する間伐材は、森林資源の有効利用と木材の安定的供給に寄与するとともに、搬出された材は、市況動向に注意しながらより有利な販売により収入確保にも努めています。

保育間伐については列状間伐を積極的に導入し、搬出コスト削減による一層の間伐の推進を図るとともに、健全な森林の育成に努めており、一部は列状間伐のモデル林にも指定されています。

また、釜ヶ峰山国有林の一部（約一二ヘクタール）を「ふれあいの森」に設定し、庄原市では「ふれあいの森釜峰山森林浴公園」として整備を行っています。展望台や東屋、歩道が整備され、ハイキングを楽しむながら九

〇種類以上の植物を観察することができます。

毎年春には地元の小学校の遠足に合わせ森林教室等を行い、ネイチャーゲームや林木遺産資源保存林の林内散策、木工教室などを実施し、森林環境教育を地域と連携して国有林をフィールドとして行っています。

更に、平成一七年度から実施している森林ボランティアリーダー養成スクールにおいても、植物観察、炭焼体験等の実習場所になるなど、多様なニーズに応えることのできる貴重な国有林であると言えます。

今後も、路網の整備やきめ細かな森林施策により、公益的機能の一層の発揮に努めるとともに、国民から親しまれる森林とのふれあいの場の提供、間伐のモデル林造成、地球温暖化防止のための木材の生産を行うなど、国有林としての機能が十分に発揮できるよう各種事業を実施することとしています。

〒七二八・〇〇一一
広島県三次市十日市中二・五・一九
TEL 〇五〇・三二六〇・一〇〇〇
FAX 〇八二四・六一・二二五六
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hokubu>